



よろしく
 お願いします



▶ 特集 友好交流バレーボール大会……	2
▶ 第17回村民体育祭	12
▶ 第10回文化展	13
▶ みんなの広場	14
▶ 村の話題あれこれ	16
▶ ごみの減量にご協力を	18
▶ お知らせ	19



千早城跡

1333年の千早 100 日の籠城の舞台となった千早城も今は石垣がわずかに残り、石碑だけが建っている。目を閉じると、鎌倉末期の動乱の世を戦った雑兵たちの闘いの声が聞こえてくるようで、訪れる人は絶えない。

それは658年前に始まった



悠久の歴史を感じる千早城跡への古道

千早100日の籠城

「千剣破城ノ寄手ハ、前ノ勢八十万騎ニ、又赤坂ノ勢吉野ノ勢馳加テ百万騎ニ余リケレバ、城ノ四方二三里方間ハ、見物相撲ノ場ノ如ク打圍デ、尺寸ノ地ヲモ余サズ充滿タリ

(略)

大軍ノ近ヅク処ニハ、山勢是ガ為ニ動キ、時ノ声ノ震フ中ニハ坤軸須ゆニ摧ケタリ。此勢ニモ恐レズシテワズカニ千人ニ足ヌ小勢ニテ誰ヲ憑ミ何ヲ待共ナキニ城中ニコラハテ防ギ戦ケル楠ガ心ノ程コソ不敵ナレ」

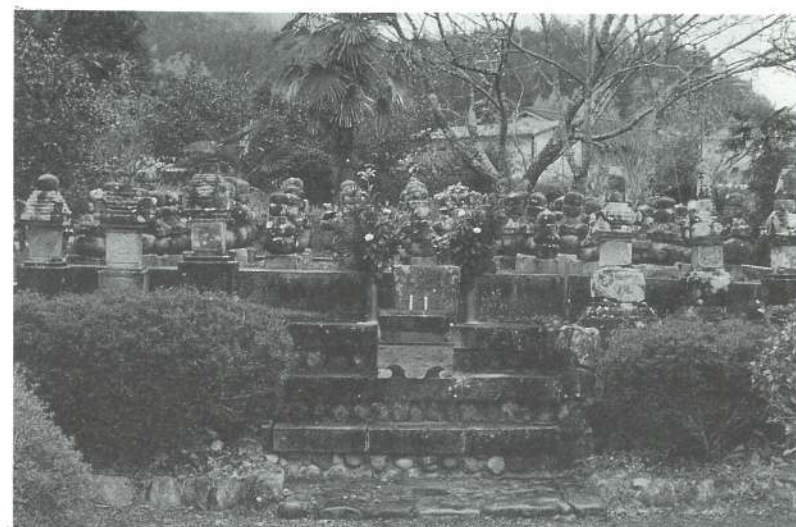
以上は、太平記巻七「千剣破城軍事」中の一文です。

動乱の鎌倉末期の1333年、楠木正成が、数十万の幕府軍に対し、1000人足らずの兵で、地形を利用し奇策を用いて、千早城で戦っていました。いわゆる千早100日の籠城です。

100日の籠城ともなれば、水はともかく食糧は不足してきます。河内側からの搬入は、充滿する敵にはばまれて不可能とすれば、背面の金剛山を経て、農民や山伏が運んだと考えられますが、非常に困難な事です。では、完全に封鎖された状況で、いかにしてその補充をしたのでしょうか…

野長瀬一族の支援

正成の遠戚に当たる、紀伊国近露（現在の和歌山県西牟婁郡中辺路町）の野長瀬六郎盛忠氏が、千早城に籠る正成に食糧を贈ったという記録が



野長瀬一族の墓

あります。

野長瀬家第28代の盛孝氏の研究により、紀伊国の近露から和歌山・奈良県境の山脈を越え、十津川・千早峠を経て千早城を結ぶ約100キロの裏ルートのあったことが明らかになりました。

そして、六郎盛忠氏の率いる近露軍400人が米500石をこのルートを使い、3回にわたって千早城に輸送して、籠城のささえになったことが確認されました。

このようにして、野長瀬軍の支援により正成は、千早100日の籠城を戦い抜き、幕府を急転互解に導き、建武中興の偉業がかないました。

中辺路町ってどんなところ？



中辺路町は、和歌山県の南部に位置し、西は田辺市、北は龍神村、奈良県十津川村、東は本宮町、南は大塔村、上富田村と接する山間の緑豊かな町です。

昔から富田川、日置川の美しい水系に代表される自然美と熊野信仰の重要なルートとして栄え、今なおその面影をとどめています。

千早村、赤阪村の合併と同じ昭和31年9月30日、富里村

が行われています。

観光面では、昭和52年に文化庁の指定を受けた歴史の道「熊野古道」や点在する史跡を生かして、観光資源の開発にとりかかりました。そして緑の郷「古道ヶ丘」、近露自然休養村などの整備により、

レクリエーションの場として

多くの人が利用しています。

昭和59年には、町民の応募により町の木がヤマモミジ、鳥がウグイス、そして花は千早赤阪村と同じヤマユリが選ばれました。

友情が再び開花



野長瀬家第28代の盛孝氏が、

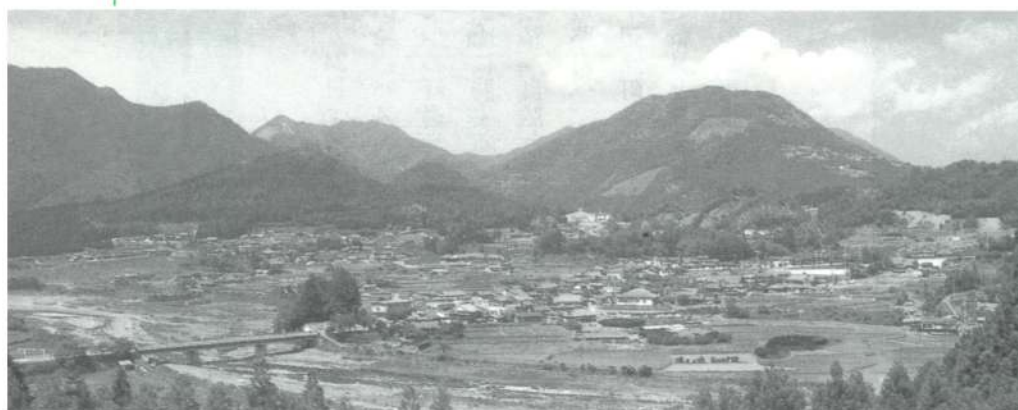
祖先の足跡を尋ねて千早赤阪村を訪れたことが契機となつて、昭和49年秋に千早赤阪村楠公史跡保存会の役員が盛孝氏を訪れたことにより両町村の親交が始まりました。

その後、両町村長および議会議員、住民が相互に訪問しあい、理解を深め友好を保ち親近感はますます強いものと

ルアップに寄与していく」と

いうことで意見が一致しました。それから数回の会合を重ね両町村の資料提供などを通じて、両町村議会の承認を得て昭和57年5月15日、中辺路町と千早赤阪村が友好提携を結び、649年前の友情が再び開花しました。

近露の全景





友好交流バレーボール大会

友好提携を結んでからは、毎年両町村の住民の間で、スポーツ交流などが行われています。

今年は、友好交流バレーボール大会が、8月24日(土)・25日(日)の2日間で中辺路町で行われ、千早赤阪村からは村バレーボール選抜チームの男女23人の選手たちが参加し、友好

を深めました。

選手たちは、24日(土)午前7時30分村を出発、バスの中では、友好提携への経過や野長瀬氏と楠木正成に関する話をしながら、一路「自然と歴史のまち」中辺路町へ。

午後2時中辺路町へ到着し、役場庁舎内で職員とPRビデオによって町の概要説明を受

け、町内見学に出かけました。

野長瀬一族の墓所や箸折峠の牛馬童子像を車窓より見学し、熊野古道九十九王子の一つ継桜王子の平安村で、平安時代の衣装をまとい記念写真。そして、いよいよ試合の開始です……

野長瀬 VS 楠木

午後7時より近野小学校体育館で開会式。村選抜男子チームの尾崎尚宏主将・女子チームの武部なおみ主将と中辺路町チームの主将によるチーム紹介の後、サインボールの交換、そして試合開始の笛が

なりました。

第1試合は、村選抜男子チーム対青年男子チーム。迫力のあるオープン攻撃やサインプレーが続出しました。

第2試合は、村選抜女子チーム対ママさんチーム。男子

と違って、ボールを拾ってつなく、粘りのある見応えのあ

るラリーが続きました。結果は次のとおりです。

男子			女子		
千早赤阪村			千早赤阪村		
2			2		
15	15	11	15	15	11
6	3		8	0	15
0			1		
中辺路町			中辺路町		

翌25日(日)も午前8時より試合が行われました。

第3試合は、村選抜女子チーム対青年女子チーム。前日のフルセットの攻防の疲れも見せずに、セッターのトス回しに、右に左にとスパイクを決めていました。

第4試合は、前日と同じく

男子			女子		
千早赤阪村			千早赤阪村		
2			2		
15	15		15	3	15
9	12		13	15	11
0			1		
中辺路町			中辺路町		

2日間にわたる試合の結果は、千早赤阪村の圧勝に終わりましたが、両町村チームの素晴らしいファイトに、惜しめない拍手が送られました。





條時泰隆さん (小吹台)

自然のスケールが、千早赤阪村よりはるかに大きい。これを契機に、機会あることに未長く交流していきたいと思っています。また、特産物の交換などできるのでは……。



松原弘美さん (森屋)

貴重な体験をさせていただきました。かたよったメンバーでなく、ひとりでも多くの村民が、交流事業に参加できれば、ますます友好が深まっていきたいと思います。

友好交流バレーボール大会には、千早赤阪村から23人の選手たちが参加しました。初めて中辺路町に行く人ばかりで、期待と不安の入り交じった人もいたかも知れません。2日間の日程を終えて、帰りのバスの中での盛り上がりがすべてといえるでしょう。そんな選手たちの声を拾ってみました……



中尾都喜子さん (小吹台)

村の選抜チームで参加したので、今まで知らなかった人々と親しくなれ、参加してよかった。できることなら、もっと多く試合をしたかったです。

参加する前は「ただバレーボールの試合をするだけだ」と思っていました。今は、もっと大きな事をしてきたんだと思います。そして、もっと多くの村民に、友好交流のことを知ってもらう必要があります。



吉見英治さん (小吹台)



向井竜也さん (桐山)

普通の旅行とは、違った体験をすることができました。中辺路町の人たちは、気軽に話のできる人ばかりだったので、もっとゆっくり交流をしたかったです。



南本静子さん (森屋)

中辺路町に来て、千早赤阪村を都会に感じました。懇親会でたくさんの人たちとお話ができ、よい体験をさせていただきました。



千福宗子さん (東阪)

中辺路町は、山が近くてとてもいい所でした。でも、やっぱり千早赤阪村が一番ですね。友好交流もいろいろと事業を増やしていき、若い人もどんどん参加していける機会ができれば……。



川辺英弘さん (川野辺)

中辺路町バレーボールチームは、チームワークのとれたとても素晴らしいチームでした。何回も対戦していきたいチームでした。



畑沢健二さん (千早)

中辺路町は、町をあげて事業に数多く取り組んでいるのに感心しました。また、千早赤阪村同様自然豊かな所でしたが、川の美しさは格別でした。



千福一代さん (東阪)

中辺路町の人たちは、初めてお会いしたとは思えないほど、親しみと、心のあたたかさを感じました。また、ボールを追う顔は、きびしくも楽しそうでした。



またいつの日か...

試合終了後、選手たちの健闘をたたえあい、交流を深めるための昼食会が行われました。友好提携のきっかけとなった野瀬盛孝氏も参加され、「歴史が結ぶ中辺路町と千早赤阪村の友好が選手のみならずの若い力で、ますます強まることを願っています」と、

あいさつをされました。選手たちは、お互いの健闘をたたえあい、再会を誓っていました。村の選手たちは、600年以上前の私たちの先祖の友情、そして昭和の時代となって野瀬盛孝氏と楠公史跡保存会との交流、さらに町と村とが

一体となった友好提携、この歴史をもとに中辺路町民400人と千早赤阪村民7800人のひとりひとりが強いきずなで結ばれることを願って、午後3時中辺路町を後にし、全員無事に千早赤阪村に帰って来ました。



村選抜男子チームと中辺路町青年男子チーム



村選抜女子チームと中辺路町青年女子チーム

来年は友好提携満10年

昭和57年5月15日、友好提携が結ばれた時の記念冊子の表紙をめくると、友好提携宣言書が載っています。中辺路町長と千早赤阪村長の名で友好提携を結ぶことを宣言して

います。この冊子は両町村の全家庭に配付されました。両町村の紹介が載ったページをみた人は、まだ見ぬわが友人とその友人のいる地に思いをはせました。

そして、友好交流事業などを通じて多くの人が互いに訪れ、友情をあたためました。この交流した人の数の積み重ねが両町村のきずなの強さとなっています。

いよいよ平成4年、友好提携締結10周年を迎えます。この10年の年輪を大切に、また新しい友好の芽を育てたいものです。



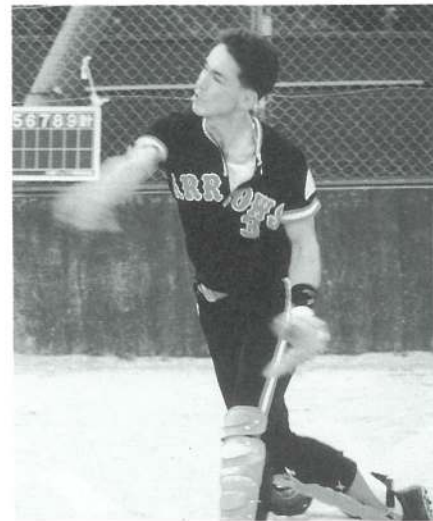
昭和57年5月15日の友好提携宣言式典

友好の輪、大きく、大きく

— 独自にソフトボールで交流 —

9月8日(日)、村民運動場で、中辺路町ソフトボールチームと村の小吹アローズ、小吹台サングラスの交流試合が行われました。

これは、昭和63年と平成元年に両町村の友好交流事業と



してソフトボールが行われたのをきっかけに自主的に交流を始め、続いているものです。平成元年9月に中辺路町チームが千早赤阪村を訪れた時の懇親会の席で、小吹アローズの監督の尾谷行雄さんが中辺路町の北条明さんに独自に同町へ行って交流したいという申し入れをしました。さっそく同年11月には小吹アローズチームが中辺路町へ行き、

自主交流の第一歩を踏みだしました。そして毎年互いに訪問するようになり、今まで続いています。回を重ねるにつれて、互いに顔を覚え、プレーを理解し、酒の席での芸を知り、親近感はますます強いものとなりました。

今回は、小吹台サングラスも参加し、一層友好の輪が大きくなったといえます。

まるで隣の家 の人のように...

ソフトボールで交流をするようになって、それまで全然知らなかった中辺路町、野瀬氏と千早赤阪村の歴史を知ることができました。

今では、ソフトボール以外にも事あるたびに、電話などでお互いの近況を尋ねたりしています。また、両チームの

メンバーで共通の職業を持つ者もあり、仕事のことに付いて、情報の交換をすることもあります。

このように、遠く離れていますが、まるで千早赤阪村の人であるかのように親しく付きあっています。試合することだけに終わらず、たくさんの方々ができたことが一番よかったと思います。(談)



小吹アローズ監督

尾谷 行雄 さん

天高く馬 肥ゆる秋

第10回 と き 11月3日(文化の日) 午前9時30分～午後4時30分
11月4日(振替休日) 午前9時30分～午後4時
ところ 海洋センター(ロビー、ミーティングルーム、2階トレーニングルーム)

展示作品

中辺路町作品、一般作品及び文化協会所属クラブ作品(俳画、ちぎり絵、パン、手芸、書道、生花、盆栽、編物、アートフラワー、紙粘土、写真、俳句、短歌、南画、押花、七宝焼、ろう花、きめ込み人形等)

ご希望にお応えして
即売会もあります

〈クラブ〉 アートフラワー、ちぎり絵、パン、俳画、紙粘土、押花

〈協賛〉 ろう花



〈前回の文化展より〉

あなたも
出展してみませんか

一般展示申し込み 10月15日(火)午後5時まで

(申し込み用紙は公民館にあります)

一般展示申し込み先 村公民館

お待ちしております

みなさんのおこしを

と き 11月4日(振替休日)
午後1時～3時30分
ところ 海洋センター体育館アリーナ
出演 オレンジエコー
村立中学校プラスバンド部
村少年少女合唱団
村少年少女合唱団「あかさか」
賛助出演 千早赤阪第一保育園



〈前回のふれあいコンサートより〉

第7回
ふれあい
コンサート

第17回
村民体育祭



〈前回の体育祭より〉

と き 10月10日(体育の日) 午前8時30分～
雨天の場合は13日(日)

ところ 村民運動場
主催 村・村体育協会
〈問い合わせ〉 教育委員会

地区対抗競技や一般参加種目など盛りだくさん、お気軽に参加ください。詳細は、プログラムをご覧ください。

※ 決行・中止の決定はテレホンサービス ☎24 2300 (午前7時30分～) で確かめください。



青春
じゅづつなぎ 18
浦 佳代子さん

〈18歳・牡羊座〉

▷プロフィール……

現在、三和ニューマルチ株式会社で、多層プリント配線基板の設計をしています

▷趣味は……

音楽鑑賞、スポーツ観戦

▷長所・短所は……

長所は、する事、しなければいけない事は、最後まで、やりとげなければ気がすまないところ

短所は、あわてんぼうなところ

▷夢は……

誰からでも信頼されるような素敵な人になりたいです。

▷理想のタイプは……

とても誠実で、いつも何かに夢中になっている人



七五三の時の写真です

▷今、一番関心のある事は……

コンピュータを扱う事

▷今の千早赤阪村は……

○好きなところ

緑に囲まれ、のんびり暮らせるところ

○きらいなところ

交通が不便なところ

▷21世紀の千早赤阪村はどんな村に……

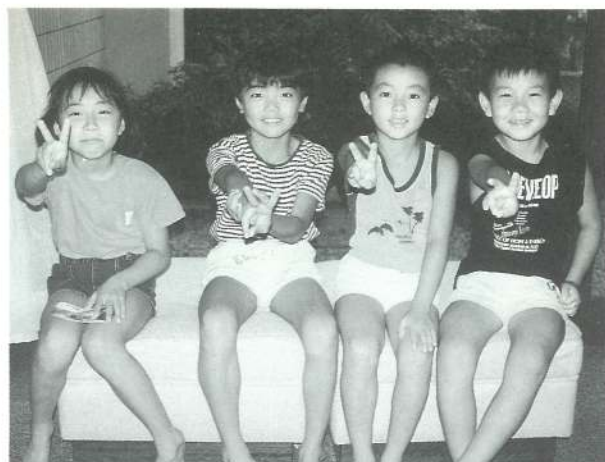
何も変わらず、このまま平和な村であってほしい。

▷広報はやあかさかについて……

千早赤阪の事が良くわかり、とても見やすいです。

▷来月号は……

菅 麻里さんです。



村資料館にて



PRキャラバンにて

みんなの

なひろば

わがやの
ホープ



森屋

ゆう

古川友子ちゃん

(平成2年1月4日生まれ)

おおむね3歳までの乳幼児の写真を募集しています。写真の裏に住所・氏名・生年月日・性別・保護者名を記入の上応募ください。写真は掲載後返却します。
〈問い合わせ〉 企画調整課広報係

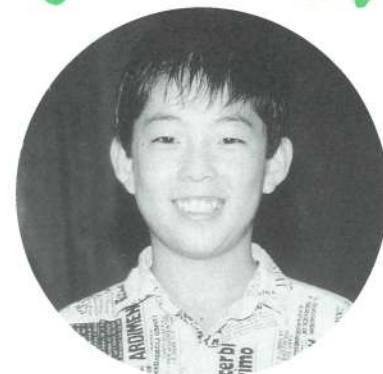
わたしの夢



千早小学校5年
田和久美子さん

わたしの夢は、童話作家になることです。なぜかという、自分で想像することが大好きだからです。今までにも3回、絵本作りをしました。わたしは、低学年向けの本を作りたいと思います。低学年向けだと、学校にも置いてもらえるかもしれないからです。がんばりたいと思います。

ぼくの夢



千早小学校5年
谷 憲一君

ぼくの夢は、プロ野球の選手になることです。なぜなら一軍でぎゃくてんまんるいホームランをうったら、ヒーローインタビューにも出れるし、ゆうめい人にもなれるからです。プロ野球の選手になるには、甲子園に出て、ドラフト会議でえられなくては、なれません。もしぼくが、プロ野球のせん手になれば、ぼくはジャイアンツが西武に入って、三かおおうを、取りたいです。この夢が、ほんとうに、おこってほしいです。いっしょうけんめい努力して、自分にまけない人間になりたいです。



いつまでもお元気で

8月28日(水)、村の最高齢者の吉田茂一さん(99歳桐山)と満90歳の人(9月15日現在)を山本村長が訪問し、祝品を贈って長寿をお祝いしました。〔写真〕

90歳以上の人(34人)に長寿祝品の他、満88歳の人(11人)に米寿祝品、80歳以上の人(234人)に敬老祝金、75歳以上の人(462人)に敬老祝品、満75歳の人(31人)に記念写真を村から贈呈しました。

また、村婦人会より70歳以上の人に祝品の贈呈がありました。

暑さに負けずハッスルプレー

8月31日(土)、残暑きびしい中、第2回千早赤阪村老人クラブ連合会ゲートボール大会が村民運動場で行われました。今回の優勝チームは、大阪府・大阪市老人クラブ連合会ゲートボール大会の出場権を得るため、どのチームも真剣勝負で、チームメイトからの声援も鋭く、年齢を感じさせない好プレーが続出しました。

参加したのは7チームで、試合結果は次のとおりです。

優 勝	小吹台Bチーム〔写真〕
準優勝	小吹台Aチーム
3 位	水分Aチーム



サインプレーも続出

9月15日(祝)、第2回B & G会長杯バレーボール大会が海洋センターで行われました。当日は男子3チーム、女子3チームが参加し、男女別の総当たり戦で白熱した試合が展開されました。

試合結果は次のとおりです。

男子 優 勝	O. Bクラブ
準優勝	MEN' S KEIZO
3 位	全日本選抜漏れ
女子 優 勝	ウィングス
準優勝	千早赤阪リーダーズ
3 位	尻女友Ⅱ



あべの、なんばに鎧武者出現



9月7日(土)、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会によるPRキャラバンが南海なんば駅のロケット広場と近鉄あべの橋駅の西口コンコースで盛大に行われました。

あべの橋駅では、「わがまち自慢」インタビューで南河内10市町村を紹介し、また、南河内の秋祭りを代表して村青年団有志による地車太鼓の実演がキャンペーンのムードを一層盛り上げました。

そして、大河ドラマ「太平記」のシーンを彷彿させる鎧武者の衣装を着て行った南河内の特産品プレゼント抽選会では、コンコースからあふれるほどの人垣ができ、おどやワインなどが当たった人からは、思いもよらない特産品のプレゼントに歓声があがっていました。



感動のシーンがもう一度

堺市にお住まいの武田美登利さんより村に「桜井の別れ」の押絵が寄贈されました。この押絵は、去る7月に開催された堺市美術新人展に出展し、入選された作品ですが、「大楠公ゆかりの千早赤阪村にぜひ受け取ってほしい」と贈られました。楠公父子訣別の場面がモデルで、縦70センチ、横50センチの大きさの絵は、布や糸、皮を使って立体的に再現しています。



限られた資源

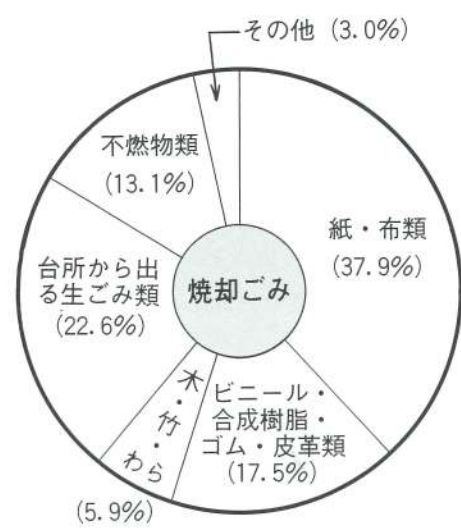
紙・布類

新聞紙、雑誌、ダンボールや布類等が一般ごみと一緒に出されているのがよく見受けられます。昨年度、本村では、こども会の回収などで、新聞紙114トン、雑誌類40トン、ダンボール26トン、その他紙類1トン、布類12トンもの量が集められました。最も回収の多かった新聞紙を例に挙げると、一族一日に配達される量が朝刊、夕刊を合わせると約300グラム、村全体では一年間で約227トンもの新聞が配達されたこととなります。この内からこども会の回収分を引くと約113トンとなり、配達された新聞紙の約半分が一般ごみとして出されていると考えられます。南河内清掃施設組合の資料をみると、紙、布類が処理されたごみの中

で一番大きな割合を占めています。紙、布類をこども会などの集団回収に出すことでかなりの減量ができることとなります。集められた新聞紙などの紙類については、回収業者に売却され、製紙工場でトイレットペーパーや再生紙などに生まれ変わります。牛乳パックについても再利用できますので水洗いをして、広げて村社会福祉協議会へ出して下さい。布類については、機械などを拭くウエスに生まれ変わり工場などで、再利用されます。

特に紙類については、立派な森の資源です。自然や物の命を大切にするためにも、ごみとして出さず再利用ができるようにご協力をお願いします。

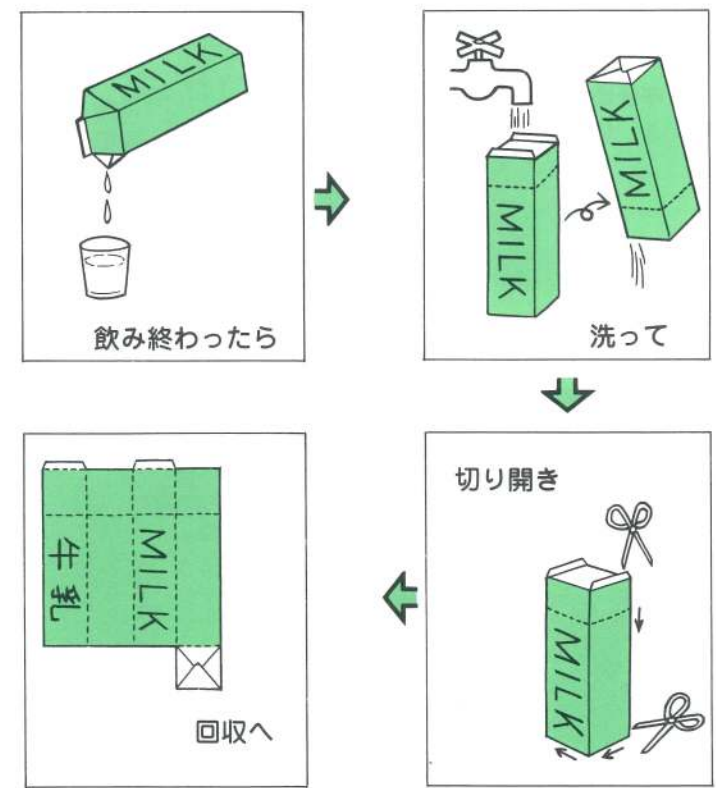
〈問い合わせ〉住民福祉課



「南河内清掃施設組合 平成2年度事業概要」より

紙古び

牛乳パックを集めています
みなさんのご協力を



— ごみの減量にご協力を —

児童手当制度がかわります

平成四年1月1日から、児童手当制度が改正されます。現在の場合は、第2子以後が対象で第2子に2千5百円、第3子以降には5千円が小学校入学まで支給されていたのですが、今回の改正により第1子より支給の対象になり、第1子5千円、第2子5千円、第3子以降が1万円と支給される額が引き上げられます。ただし、支給の年齢については、3年間の段階的に引き下げられ、平成6年1月1日より満3歳未満児が対象となります。(別表①参照)

別表① 児童手当の流れ

		第1子	第2子	第3子以降
現 行	支給年齢	—	小学校入学前	小学校入学前
	支給金額	—	月額 2,500円	月額 5,000円
平成4年1月～12月	支給年齢	1歳未満 平成3年1月2日以降生まれ	5歳未満 昭和62年1月1日以降生まれ	5歳未満 昭和62年1月1日以降生まれ
	支給金額	月額 5,000円	月額 5,000円	月額 10,000円
平成5年1月～12月	支給年齢	2歳未満 平成3年1月2日以降生まれ	4歳未満 平成元年1月1日以降生まれ	4歳未満 平成3年1月1日以降生まれ
	支給金額	月額 5,000円	月額 5,000円	月額 10,000円
平成6年1月～	支給年齢	3歳未満 平成3年1月2日以降生まれ	3歳未満 平成元年1月1日以降生まれ	3歳未満 平成3年1月2日以降生まれ
	支給金額	月額 5,000円	月額 5,000円	月額 10,000円

また、支給対象年齢が段階的に引き下げられるのにもない、段階的に受給資格が喪失しますのでご注意ください。(別表②参照)

平成4年1月より新制度にかわることに伴い、新たに支給要件に該当することとなる児童(平成3年1月2日以降生まれの一人目の児童)がおられる場合は、今年の11月1日より申請を受け付けますので早目に手続きをしてください。

〈問い合わせ〉住民福祉課福祉係

別表② 受給資格喪失日

対 象 児	資格喪失日
昭和61年以前に生まれた人	平成3年12月31日
昭和62年生まれの人	平成4年の誕生日の前日(1日生まれの方は当日)

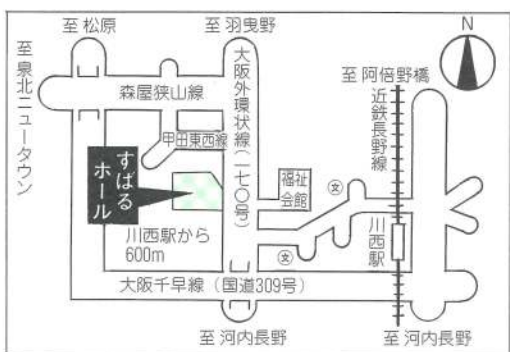


南河内再発見 シンポジウム

南河内地域広域行政推進協議会が昭和62年より行っている再発見シンポジウムを、富田林市のすばるホールで開催いたします。

現在、NHK大河ドラマでは、南河内にゆかりの深い太平記が取り上げられています。出演者の皆さんには、地域性・人情味など南河内のホットな一面をドラマとは違った視点から熱く語ってもらいます。

参加を希望される人は11月8日(金)までに、電話またはハガキで住所・氏名・参加人数を記入の上、申し込みください。(定員800人、先着順)
参加費は無料です。



▽日時 11月16日(土)
午後1時20分～4時30分
▽場所 すばるホール ※地図参照 ※駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ電車をご利用ください。

▽テーマ 太平記 時空を超え
▽基調講演 難波 利三氏
(作家 第91回直木賞受賞)
▽フリートーク 難波 利三氏
桂 春之助氏(落語家)
▽桂 春之助氏の落語もお楽しみいただけます。(演題未定)
〈申し込み〉 企画調整課

胃・子宮・大腸 がん検診

胃・子宮・大腸がんの検診を行います。日頃、健康に自信があると思っている人も1年に1回は検診を受けてください。

胃・大腸がん検診(受付は午前9時30分～11時)
10月21日(月) 小吹台連絡所
10月22日(火) 役場庁舎前
子宮・大腸がん検診(受付は午後1時30分～2時30分)
10月24日(木) 小吹台連絡所
10月31日(木) 村公民館

〈問い合わせ〉 健康推進課

	対象	受診料	検査内容	注意事項等
胃がん検診	村内在住30歳以上の方	500円 (※注1)	○問診 ○胃のレントゲン 間接撮影	○検診前日の夕食は午後8時までに おとりください。 ○検診当日は起床時から、水・たば こ・その他一切の飲食物はとらない でください。 ○ボタン・金具・ファスナー等のな い下着をつけてください。
子宮がん検診	村内在住30歳以上の女性	子宮頸がんのみ 400円 子宮頸がんと 体がん 800円 (※注1)	○問診 ○子宮頸部細胞診 (必要者に体部 細胞診)	○子宮体がん検査の対象者は原則と して最近6か月以内に不正性品出 血のあった方で、医師が必要と認 めた方のみ。
大腸がん検診	村内在住30歳以上の方	300円 (※注1)	○問診 ○便潜血検査	○胃がん・子宮がん検診と同時実施 しますので、御希望の方は、当日 お申し出ください。 ○採便容器をお渡ししますので、後 日それを提出していただきます。

※注1……但し、70歳以上の方は無料。胃・大腸がん検診は40歳以上、子宮がん検診は30歳以上の方で生活保護を受けている方および非課税世帯の方は申し出により無料。
注2……健康手帳をお持ちの方は持参ください。

「太平記」の村 フォトコンテスト

特別モデル撮影会

村では太平記を題材とした写真コンテストの受け付けを11月30日(土)まで行っています。

11月3日(日)、午前10時30分から特別モデル撮影会を行います。ふるって参加してください。(ただし雨天中止)

▽集合 金剛山ロープウェイ
金剛山駅前

▽参加費 無料

〈問い合わせ〉

農林商工課 ☎721447

山地美化 キャンペーン

11月は山地美化キャンペーン月間です。

金剛山は、府民に親しまれ多くのハイカー達が訪れています。ハイカーの増加に比例してごみの量も年々増え徐々に山が汚れています。村では府の協力で11月3日(日)、金剛山の自然を守るクリーンハイキングを百ヶ辻(午前9時30分出発)から府民の森ちはや園地伏見広場まで行います。みなさんの参加をお待ちしています。

〈問い合わせ〉

農林商工課 ☎721447

大阪の仏像展

堺市博物館の、秋季特別展「大阪の仏像」に、小吹蓮華寺の聖観音が展示されます。

▽仏像

小吹「蓮華寺」(観音堂)の聖観音(平安末期の作風)

税

平成3年度村府民税第3期分の納期は10月31日(木)です。
税金は納期限内に金融機関等で納付していただくようお願い致します。
〈問い合わせ〉税務課

国民年金

年金なんでも相談

国民年金・厚生年金などの相談に応じるため、大阪府より専門の相談員が1日出張しますのでお気軽にご相談ください。
なお、厚生年金被保険者証・年金手帳などの記号番号や加入脱退の年月日または過去の職歴などをメモしてお越しくださいと、より具体的に説明ができます。日頃年金についてお聞きになりたい人は、ぜひこの機会にご相談ください。
▷日時 10月18日(金)
▷場所・小吹台連絡所
午前10時～11時30分
・村公民館第4会議室
午後1時～3時
〈問い合わせ〉保険課

福祉医療

身体障害者医療・母子家庭医療の更新手続きを

今、お持ちの障害者医療証及び母子家庭医療証の有効期限は、10月31日(木)です。
更新の受付は、10月25日(金)から31日(木)まで、保険課（小吹台地区の人は、

小吹台連絡所で更新）で行いますので必ず更新の申請を行ってください。
もし、申請がなければ11月1日(金)から医療費の助成を受けることができませんのでご注意ください。
▷持参するもの
(障害者医療)
・今お持ちの障害者医療証・印鑑・健康保険証・身体障害者手帳
(母子家庭医療)
・今お持ちの母子家庭医療証・印鑑・健康保険証
〈問い合わせ〉保険課

保健・衛生

◎三種混合予防接種（百日咳・ジフテリア・破傷風）（9月号参照）
10月16日(水)・21日(月)
◎ポリオ予防接種（9月号参照）
10月7日(月)・9日(水)

寄付

福祉基金にご寄付いただきました。厚くお礼を申し上げ報告させていただきます。
◎千早赤阪村ふる里会
浅岡敏男殿
金100,000円

相談

・心配ごと相談
10月3日(木)・17日(木)・11月7日(木)
午後1時～3時 村公民館第3会議室
・行政相談（21頁参照）
10月17日(木)・18日(金)・19日(土)
午後1時～3時 村公民館第3会議室
10月18日(金)
午前10時～12時 小吹台連絡所

ごみ収集日

○普通ごみ収集日（毎週火・金曜日）
10月1日(火)・4日(金)・8日(火)・11日(金)・15日(火)・18日(金)・22日(火)・25日(金)・29日(火)・11月1日(金)・5日(火)・8日(金)
○粗大ごみ収集日
10月2日(水)・11月6日(水)
○資源ごみ収集日（空カン・空ビン）
10月16日(水)

ふれあい学級

第3回 国民年金生きがい講座 “ふれあい学級” 受講生募集

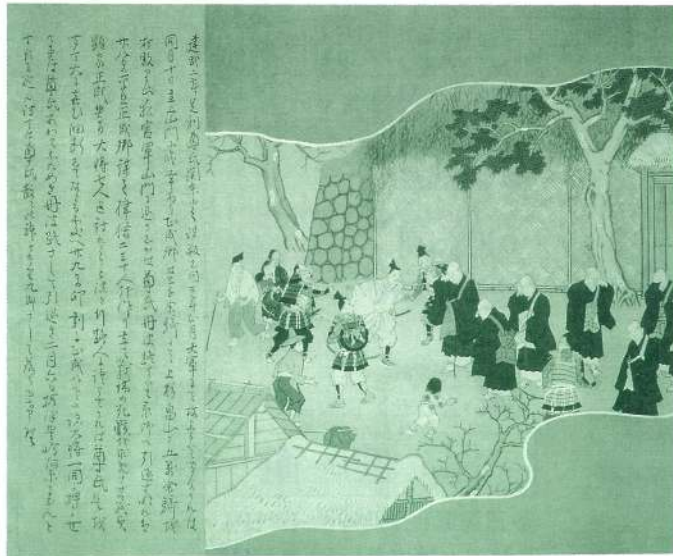
▷日程（1泊2日）
Aコース 11月12日(火)～13日(水)
Bコース 11月13日(水)～14日(木)
▷場所
大阪府国民年金健康保養センター「サンヒル柏原」
柏原市安堂町115-1
▷講座内容
年金・健康・趣味の講座
▷定員
各コース 50人（先着順）
▷費用 6,500円
▷申し込み
ハガキに希望のコース、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、お申し込みください。
〒540 大阪市中央区上町A番12号 大阪府福祉部国民年金課内
ふれあい学級係
☎（06）763-4065

こちら編集室

▽NHK大河ドラマ「太平記」で、「わしは鬼にはなれぬ。七たびでも人間に生まれ、家の小庭に花を作り、外には戦のなき世を眺めたい」との言葉を残し、楠木正成（武田鉄矢）と弟正季（赤井英和）は自刃しました。幾度となく、広報紙に取りあげてきましたので、広報マンも思わず感無量。みなさんも、それぞれの想いで、見られたことと思います。みなさんのご感想をお待ちしています。
▽あつい・アツイ・暑いと言っていた編集室も、いつの間にか秋の気配が感じられるようになりました。みなさんは、何に秋を感じますか。やはり秋と言えば「秋まつり」。今年は、太平記ブームで、建水分神社の秋まつりも多くの観光客で賑わうことでしょう。今年も事故のない楽しい秋まつりになりますように。
▽ところで、みなさんもお気づきのことだと思いますが、7月号から広報紙をホッチキス止めしています。広報紙も昔と違って頁数も増えてきているので、「バラバラになって読みづらい」という声もありましたが、これで少しは読みやすくなったと思います。後は、広報マンの努力次第……。

(き)

太平記絵詞・楠木合戦之部 ⑪



〈楠妣庵観音寺蔵〉

敗	尊
走	氏
す	九
る	州
	へ

建武元年（一三三四年）後醍醐天皇は、自ら新政府を発足させた。

——建武中興——

しかし、この平和な時期も二年と続かなかった。足利尊氏は鎌倉で謀反を起こし、京都へ攻め上ってきた。

天皇は新田義貞に足利討伐の命令を出した。それに従って、北畠顕家、楠木正成等の軍勢が京都の防衛態勢を固めた。

一ヶ月の激しい闘いが続いたが、尊氏は兵庫へ退却し、そこから海路九州へ逃れた。

楠木正成ゆかりの地

湊川神社(神戸市)

1336年5月25日、足利尊氏に敗れた楠木正成は、神戸湊川で弟正季と刺し違えて壮絶な最期を遂げた。

正成の墓のあるこの地に、明治5年（1872年）正成をまつる神社が創建された。

墓は、境内東側にあり、正成ゆかりの地で産した石で作られており、本殿西の「大楠公戦歿地」とともに国の史跡に指定されている。

